



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社ナルネットコミュニケーションズ 上場取引所 東
コード番号 5870 URL <https://www.nal-mt.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 慎二郎
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役（氏名） 東村 大介（TEL）0568(20)9111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,500	9.3	213	79.3	210	82.4	127	88.9
2026年3月期第1四半期	2,287	20.4	119	111.6	115	114.7	67	163.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	23.94	—
2026年3月期第1四半期	12.68	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2027年3月期第1四半期	9,435		3,827		40.6
2026年3月期	9,995		3,853		38.6

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 3,827百万円 2026年3月期 3,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,976	7.6	399	2.0	391	1.9	235	0.2	44.18
通 期	10,767	8.5	860	6.0	847	6.0	512	2.2	96.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	5,332,100株	2026年3月期	5,332,100株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	5,332,100株	2026年3月期1Q	5,332,100株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に緩やかな回復が続く一方、中東情勢の緊迫化による影響を注視するほか、金融資本市場の変動や継続する物価高の影響から依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するモビリティ業界におきましては、車両のソフトウェア化（SDV）や電動化（EV）の進展により、車両構造の複雑化と整備の高度化が急速に進んでおります。また、「車両の長寿命化」によるメンテナンス機会の増加が進む一方、整備士の高齢化などに伴う有資格整備士の不足や車両技術の高度化といった構造的な課題が深刻化しており、専門的なメンテナンス管理への外部委託の需要は拡大しております。

このような経済環境のもと、当社は「移動を止めない 安心を創造する モビリティ・インフラ カンパニー」を目指す姿として掲げており、2027年3月期を初年度とする中期経営計画をスタートさせております。「収益の多様化」「デジタル変革」「収益性の確保」の3軸を成長の柱に据え、AI/DX投資を通じたコンタクト業務の70%自動化や、BPO事業の売上比率16%超への拡大、営業利益率9%台の定着を目指しております。

当第1四半期累計期間におきましては、2026年6月の定時株主総会を経て就任いたしました新役員体制のもと、中期経営計画の実現に向けた取り組みを推進しております。事業面におきましては、サステナビリティ・ESGの観点から企業における社用車のEV化ニーズが高まる中、NTT東日本グループであるNTT ME株式会社が行う「リユースEVソリューション」において中古EVリース事業で提携いたしました。当社は車両調達から商品化、稼働中のメンテナンス維持管理に至る車両ライフサイクルマネジメントを担い、中古EVを活用したリースパッケージの提供を支援しております。さらに、リースアップ後のバッテリーリサイクルについても参画の検討を進めております。また、整備現場の深刻な人手不足という課題への対応として、若手整備士を対象とした岐阜県立国際たくみアカデミーで開催された能力開発セミナー「自動車整備作業の標準化」に登壇いたしました。整備現場における作業効率と品質の向上を支援することで、業界全体の発展に貢献してまいります。

主力のメンテナンス受託事業におきましては、整備価格の上昇に対応すべく、継続的な受託価格の適正化による収益性の改善に努めました。管理台数につきましては、既存のオートリース企業やメーカー系リース企業からの受託が堅調に推移したものの、採算性を重視した受託と不採算取引の解消を進めた結果、2026年6月末時点では84,714台となり前年同期比で0.6%の増加となりました。MLS（マイカーリースサポート）事業におきましては、マーケットの成長が堅調に推移するなか、新規取引先からの受託も増加し、2026年6月末時点の管理台数は99,011台となり前年同期比で15.9%の増加となりました。BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）事業、その他事業を合わせた2026年6月末時点の総管理台数は223,671台となり前年同期比で8.0%の増加となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,500百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は213百万円（前年同期比79.3%増）、経常利益は210百万円（前年同期比82.4%増）、四半期純利益は127百万円（前年同期比88.9%増）となりました。

なお、当社は自動車関連BPO事業の単一セグメントのため、事業のセグメント別業績については記載しておりません。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は4,559百万円となり、前事業年度末と比べ487百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が258百万円、売掛金及び契約資産が240百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は4,875百万円となり、前事業年度末と比べ72百万円減少いたしました。これは主に顧客関連資産が46百万円、のれんが25百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は9,435百万円となり、前事業年度末と比べ560百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は4,606百万円となり、前事業年度末と比べ559百万円減少いたしました。これは主に買掛金が354百万円、未払法人税等が218百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は1,000百万円となり、前事業年度末と比べ25百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,607百万円となり、前事業年度末と比べ533百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は3,827百万円となり、前事業年度末と比べ26百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益127百万円及び剰余金の配当154百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,025,200	766,715
売掛金及び契約資産	3,740,550	3,499,781
リース債権及びリース投資資産	169,536	164,597
商品	29,523	53,557
貯蔵品	4,653	2,975
その他	78,502	72,689
貸倒引当金	△335	△335
流動資産合計	5,047,631	4,559,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	353,547	347,745
賃貸資産（純額）	4,275	3,947
工具、器具及び備品（純額）	6,497	6,110
土地	267,040	267,040
リース資産（純額）	9,180	8,410
有形固定資産合計	640,541	633,255
無形固定資産		
のれん	1,387,347	1,361,655
顧客関連資産	2,535,300	2,488,350
ソフトウェア	274,935	255,543
ソフトウェア仮勘定	52,515	77,229
その他	2,693	2,693
無形固定資産合計	4,252,791	4,185,471
投資その他の資産		
その他	54,470	56,605
投資その他の資産合計	54,470	56,605
固定資産合計	4,947,803	4,875,332
資産合計	9,995,434	9,435,313

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,748,283	1,393,363
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	400,992	400,992
リース債務	2,785	2,691
未払法人税等	273,000	54,584
契約負債	1,368,592	1,405,242
賞与引当金	101,404	40,273
その他	521,153	559,841
流動負債合計	5,166,212	4,606,989
固定負債		
長期借入金	50,036	45,038
リース債務	6,593	5,932
退職給付引当金	164,299	165,759
繰延税金負債	754,587	784,259
固定負債合計	975,516	1,000,988
負債合計	6,141,729	5,607,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	76,790	76,790
資本剰余金	2,614,790	2,614,790
利益剰余金	1,157,413	1,130,443
株主資本合計	3,848,993	3,822,024
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,711	5,311
評価・換算差額等合計	4,711	5,311
純資産合計	3,853,705	3,827,335
負債純資産合計	9,995,434	9,435,313

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,287,256	2,500,683
売上原価	1,650,175	1,758,193
売上総利益	637,080	742,490
販売費及び一般管理費	517,919	528,793
営業利益	119,160	213,696
営業外収益		
受取利息	—	15
受取配当金	170	325
その他	101	69
営業外収益合計	272	410
営業外費用		
支払利息	4,184	3,923
営業外費用合計	4,184	3,923
経常利益	115,248	210,184
税引前四半期純利益	115,248	210,184
法人税、住民税及び事業税	42,300	53,177
法人税等調整額	5,363	29,345
法人税等合計	47,663	82,523
四半期純利益	67,584	127,661

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

当社は、自動車関連BP0事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	41,060千円	39,040千円
のれん償却額	25,691 "	25,691 "
顧客関連資産償却額	46,950 "	46,950 "